

食品安全関係情報(8月31日～9月20日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

8月31日～9月20日収集件数 (合計147/150件) (前回 8月10日～8月30日)		国際機関 WHO・FAO等 (7/10件)	北米 米国 (15/16件)		カナダ (2/2件)	欧州 EU、EFSA (39/27件)		各国 (18/19件)	大洋州 FSANZ等 (4/6件)	アジア 中国 (7/12件)		各国 (8/10件)	中南米等 各国 (2/2件)	その他 報道、論文等も含む (45/46件)
化学物質 (56/45件)	化学物質・汚染物質 (11件)	1	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	5
	食品添加物 (5)	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	
	農薬 (34)	0	4	0	26	1	1	0	2	0	2	0	0	
	動物用医薬品 (4)	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	2	
	器具・容器包装 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	その他 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
微生物・プリオン・自然毒 (56/68件)	細菌 (21件)	0	1	1	0	9	1	2	2	2	0	0	5	
	ウイルス (12)	2	1	1	4	1	0	1	0	0	0	2		
	原虫・寄生虫 (3)	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	プリオン (6)	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3		
	植物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	カビ毒(マイコトキシン) (7)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	
	動物性自然毒 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
その他 (6)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
新食品等 (8/7件)	新食品 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	GMO (5)	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	
	健康食品 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	アレルギー (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ナノテクノロジー (2)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
肥料・飼料等 (4/6件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	飼料 (4)	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他 (23/24件)	表示 (1件)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	放射性物質 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	その他 (21)	1	3	0	2	2	1	2	0	1	0	1	9	
海外の食中毒 (0/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
海外のリコール (0/0件)	化学物質 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	微生物 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	異物混入等 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	表示違反 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(8月31日～9月20日収集分 147件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・世界保健機関(WHO)、「鉛中毒症と健康」と題するファクトシートを発表
- ・米国食品医薬品庁(FDA)、コメ及びコメ製品 1,300 種中のヒ素に係るサンプリング結果を発表
- ・ニュージーランド第一次産業省(MPI)、生肉に用いられている亜硫酸塩の基準超過を対象に検査を行っていることを公表

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・カナダ保健省(Health Canada)、ブリティッシュ・コロンビア州及びアルバータ州で発生した腸管出血性大腸菌 O157:H7 による食中毒情報を公表
- ・欧州疾病予防管理センター(ECDC)、欧州連合/欧州経済域内において 2006～2009 年に発生した 6 つの主要な食品及び水媒介感染症の調査報告書を公表
- ・英国食品基準庁(FSA)、カンピロバクター対策の新計画を発表
- ・米国疾病管理予防センター(CDC)、論文「2012 年 3～4 月ニューヨーク市の中国移民 2 人に発生した自家製発酵豆腐に関連するボツリヌス症」を紹介
- ・国際連合食糧農業機関(FAO)、鳥インフルエンザウイルスが再興する可能性があるかと警告
- ・欧州連合(EU)、イタリアにおける高病原性鳥インフルエンザ A(H7N7)に係る防疫措置を策定
- ・欧州疾病予防管理センター(ECDC)、イタリア、エミリア=ロマーニャ州の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ A(H7N7) 及び 3 人の養鶏場作業員の感染に関する疫学情報(2013 年 9 月)を公表
- ・フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、セーヌ湾のホタテ貝で頻繁に観察された記憶喪失性貝毒(ドウモイ酸)の汚染に関するリスク管理制度改善についての意見書の抜粋を公表

【新食品等】

- ・欧州食品安全機関(EFSA)、遺伝子組換え植物由来食品・飼料の安全・栄養評価方針に係る調査報告書を公表
- ・国際連合食糧農業機関(FAO)、FAO/世界保健機関(WHO)の技術論文「食品及び農業部門におけるナノテクノロジーのリスク評価及びリスクマネジメントに関するイニシアチブ及び活動の最新状況」を公表

【その他】

- ・国際連合食糧農業機関(FAO)、ケニアで病害抵抗性小麦の品種が初めて登場した旨を公表
- ・米国食品安全検査局(FSIS)、中国の加工済み家きんの安全検査体制を米国と同等と認定・米国食品医薬品庁(FDA)、「外国政府向け情報: 制度認定(Systems Recognition)に係る FAQ」を発表